日中国交正常化 40 周年記念

日中友好交流都市中学生卓球交歓大会

開催要項

1 開催趣旨

日中国交正常化 40 周年を記念し、日中両国の中学生による卓球交歓大会を通じて、両国の友好都市、友好交流都市の地域間の友好関係とスポーツ界の相互交流の発展を促進し、とくに 21 世紀を担う青少年の友好交流の輪を大きく広げることを目的とします。

2 主催団体

日本側 社団法人日中友好協会

財団法人日本卓球協会

中国側 中日友好協会

中国卓球協会

後援<予定を含む>: 総務省

文部科学省

外務省

財団法人自治体国際化協会

財団法人日本体育協会

全国知事会

全国市長会

*他に、有力マスメディア、企業・団体に協賛を依頼する予定

- 3 参加チーム 日中の友好都市、友好交流都市関係にある全国の自治体の参加を目指 す。 : 2011 年 5 月 1 日現在 日本側: 全国で 352 自治体
- 4 開催日程2012年8月16日(木)午後~夕刻:北京に集合(指定ホテル)8月21日(火)朝食後、北京解散5泊6日間内、8月17日~19日の3日間:卓球交歓大会、8月20日は日中合同の北京観光と表彰式・記念行事活動にあてます。
- 5 開催場所 卓球交歓大会 (競技会場): 北京市 中国オリンピックセンター体育館 宿泊: 数か所のホテルを利用予定: 2012 年 2 月にホテルを決定のうえ発 表します。(各チームの宿泊ホテルは大会事務局で選定の上指定させていただきます)

- 6 チームの構成 日中双方の都市の選手・役員によって構成(双方で選手4名+役員) 日本側チーム:選手2名(男女各1名)、同行役員(4名以内)の計6名以内とします。
 - ① 選手は、当該自治体に居住または通学する中学生で、8月16日時点で満16歳未満のものであること
 - ② 役員は、各地の事情で構成を決定。1名は監督としてチームを代表するものとする。

7 大会の競技方式

A 競技方式 競技を予選リーグと決勝トーナメントの2段階に分ける。

1ゲーム:11点で5ゲームズマッチ制とする。

B 試合方法 第1試合:女子シングルス 日本 × 中国

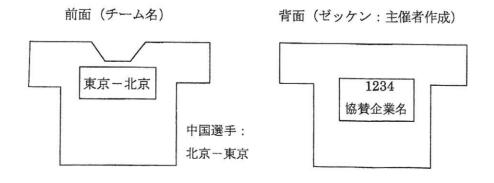
第2試合: 男子シングルス 中国 × 日本

第3試合:混合ダブルス 日本・中国 × 日本・中国

*出場選手の男女選抜は自由、但し同国の選手2名にならないこと

第4試合:女子シングルス 中国 × 日本 第5試合:男子シングルス 日本 × 中国

- ① 使用球は国際卓球連盟公認球(白球/40mm)とする。
- ② 予選リーグ、決勝トーナメントともに、チームの勝敗が決しても第5ゲームまで行う。
- ③ 選手団の補欠は認めない。万一、選手が事故等で欠場の場合には、該当 選手のみを棄権扱いで不戦敗とし、団体戦の試合は有効として実施する。
- ④ 決勝トーナメント進出チームに優秀賞、ベスト8進出チームに最優秀賞が与えられる。
- ⑤ 競技服については各日中合同チームが協議し決定できる。
- ⑥ チーム名は競技服前面中央部分に横書きで表示する。(20×15 c m程度) 日本選手は先に日本自治体名、中国選手は先に中国自治体名を表示する。 字体や色、デザイン等は各チームで考案してください。
- ⑦ ゼッケンは主催者事務局で作成の上配布し、競技服の背面に表示する。 例:日本選手の競技服(白球使用のため白色は避けてください)



- 8 参加費用 (日本側チーム)
- (1) 現地集合・解散です。日本ー中国の国際航空運賃、中国各地-北京の交通費、北京大会日程以外の中国滞在費は各チームで旅行会社等と相談のうえ手配し費用はご負担ください。 *大会事務局では後日、大会に協賛する旅行社を参加チームに推薦いたします。(詳細は後報)
- (2) 北京滞在費:宿泊(2人1室利用)費、食費、宴会費、観光・記念行事費 等含む5泊6日 1名@¥65000
- (3) チーム担当通訳経費(通訳 1 名の費用分担金) 1 チーム: ¥50000 *日本から同行の場合は不要 → ただし(2)の北京滞在費が必要です。
- (4) 大会運営費用分担金:大会運営費用は協力企業・団体からの協賛金を当てますが、各参加 チームにもその一部の負担をお願い致します。 1チーム:¥40000 *チームの人数にかかわらず③通訳費、④大会分担金は一律に同額をご負担願います。
- (5) 別費用:(2)北京滞在費には含みません。各チーム(個人)でご清算下さい。
 - 1 チームの独自行動 (観光、会合、会食、等) にかかわる経費
 - 2 ホテルでの洗濯代、電話代、ルームサービス代等の個人的費用
- 3 1人1室(一人部屋)利用を希望され場合の部屋代差額 5 泊分:¥30000 北京滞在費(1人部屋利用差額も含む)、通訳費用、大会運営費分担金は大会事務局に一括して お支払いいただきます。支払先、方法、時期は参加登録後のチームに詳細をお知らせいたします。
- 9 参加手続きについて
 - (1) 大会参加申込の受付と手続(エントリー登録、費用集金、等)は大会事務局がおこないます。卓球の競技の内容や規則等については(財)日本卓球協会 電話 03-3841-2371 にお問い合わせください
 - (2) 中国への渡航手続、手配については各チームで旅行会社と連絡のうえ実施してください。 大会協賛旅行社をご利用いただければ大会事務局との連絡も順調となり、また大会時には現 地事務局として社員も滞在しますので何かと便利です。大会日程以外の中国滞在手配や父兄 等の応援団の派遣等についても旅行会社とご相談ください。
 - (3) 今後の予定:

2011年 8月~9月 実施要項・案内を配布

2012年 2月 参加エントリー登録書の配布開始

6月 最終エントリー登録(選手・役員名簿の登録)費用支払いのお知らせ

7月 参加チームへの最終案内と必要書面・物品の配布

以上

中学生卓球交歓大会事務局:

〒101-0054 東京都千代田区神田錦 1-4(社) 日中友好協会 内電話 03-3291-4231 FAX03-3291-4237

平成 24年 2月 2日

都道府県卓球協会・連盟 理事長・事務局長各位

(写) 本会ブロック代表理事各位

財団法人 日本卓球協会 国際部部長 小坂 信彦

国交正常化 40 周年記念「日中友好都市中学生卓球交歓大会」の件

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。 平素は本協会の事業に多大なるご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本大会につきましては、既にご連絡申し上げております通り、日中・中日友好協会、日本・中国卓球協会の4団体主催で8月16日出発、17日~19日卓球交歓大会(北京市)、20日北京観光・表彰式・記念行事、21日北京解散の計画となっております。今年度は日本・中国両政府も民間交流を活発化させるべく、期待を込めて様々な行事を計画しておりますが、その中にありまして、本交歓卓球大会は歴史的な実績もあり、大切な行事に位置づけられております。

日中友好協会では各都道府県の支部日中友好協会に本件を伝達し、その支部協会が、 貴協会・連盟と接触の機会を得て、本大会への参加の打診、更には参加推進を話して いる旨を伺っております。

貴協会・連盟におかれましても、友好都市関係を持っている関係支部卓球協会に本 件を連絡していただき、参加推進を諮っていただいておられることと存じます。

つきましては、新年度も近づいておりますことから、本件につき、ご考慮いただき、 必要に応じまして、関係機関と連絡を取り合い、大会への参加をバックアップしてい ただけると幸いに存じます。

何かと日々、ご多忙のことと存じますが、本件の日中間における歴史的、今日的意義に鑑み、本件をフォローしていただきますことをお願い申し上げます。

なお、本大会への仮エントリーのための情報を得たく、2月中旬ころまでに別途出状 させていただく予定にしております。

敬具

*本件の本会事務局担当者は以下の通りです。

国際担当 藤井 和子